

サブサハラ・アフリカ初等理科教授法と評価手法
 Improvement of Quality Teaching and Evaluation Methodology in Primary Science and Mathematics for Sub-Saharan Africa

対象国の条件 : サブサハラ圏のアフリカ諸国で原則英語圏であること

研修コース番号 : 201984333-J002

案件番号 : 201984333

主分野課題 : 教育/初等教育

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

国際社会の努力により、サブサハラ・アフリカ地域においても教育の量的拡大はある程度達成されたものの、質的改善、とりわけ学校現場での質の高い教育の実践に関しては課題は山積している。子供に直接影響を与える現場の教授能力向上は喫緊の課題である。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 教科内容と教授法の質を同時に高めた理数科授業を行うための能力向上、及びそれを活用した校内研修の実施。</p> <p>【成果】 <事前活動（来日前）> 1. 配属先の現状を考察したジョブレポートの作成 2. 授業計画案（理科・算数）の作成 <本邦研修> 3. 学習者中心型の授業案及び教材作成に必要な知識・技術の習得、 4. 授業の質の向上を目的とした授業設計、授業分析、授業改善の知識・技術の習得、 5. 上記で習得した知識・技術に基づき、学習者中心型の理数科授業実践のためのブックレット作成 <事後活動（帰国後）> 6. ブックレットが関係者と共有・活用される。</p>	<p>【対象組織】 教育関係の公的機関</p> <p>【対象人材】 指導的立場（教科主任・指導主事・等）</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>単元1：学習者中心型の授業案及び教材作成に必要な知識・技術が得られる。 単元2：授業の質向上を目的とした授業設計、授業分析、授業改善の知識・技術が習得される。 単元3：授業の質と児童学力向上に係る評価に必要な知識・技術が習得される。 単元4：上記で習得した知識・技術に基づき、学習者中心型の理数科授業を実践するためのブックレットが作成される。</p> <p>*講義、グループワーク、ディスカッション *小学校での授業視察 *模擬授業 *授業実践 *ブックレット作成</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/8～2019/10</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>人間開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA中国</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2017～2019</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>岡山大学教育学研究科</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		